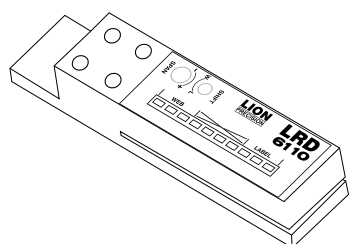


ラベル センサおよび Web 接合



該当する装置:

LRD2100、LRD3100、LRD4100、LRD6110、UltraLRD V2、LRD8200

アプリケーション:

登録、配置、計数のためのラベル センシング

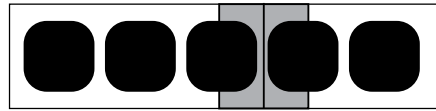
サマリー:

ラベル センサは、接合の影響を受けます。センサで使用しているテクノロジーによって、影響はセンサ毎に異なります。この TechNote では、接合に遭遇した場合のセンサの動作について詳しく説明します。出力の波形についても取り上げます。

LRD2100、LRD3100、LRD4100

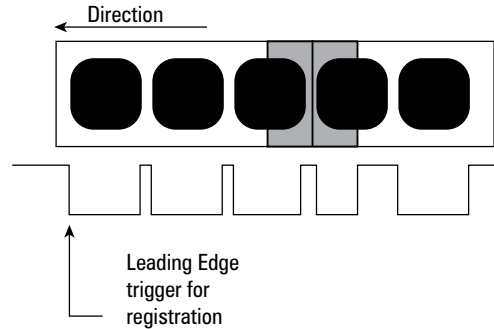
バット スプライサーは、以下の場合には、センサの動作に影響しません。

バット スプライサーのエッジがラベルの下にある。



かつ

センサが、登録のためのラベルのリーディング エッジでトリガされる。

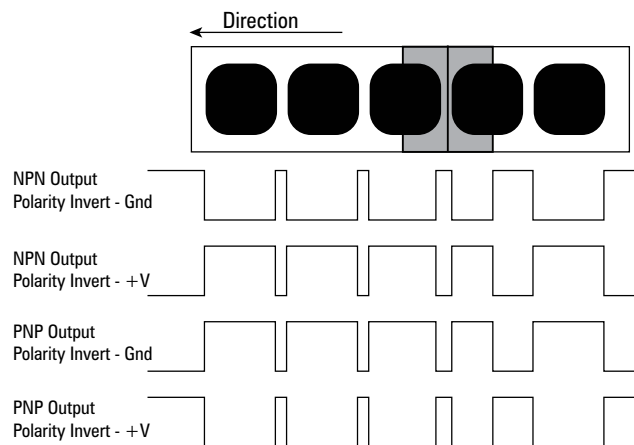


センサは、材料の量の増減の変化でトリガされます。接合が存在する場合、材料の増減の間に別のセットの遷移が存在することになります。

センサがラベルでトリガされると、材料の増加への遷移は無視されます。

センサがラベルのエッジでトリガされた後は、材料の減少への次の遷移でラベルの終わりが示されます。この理由から、ラベルのリーディング エッジの検知は影響を受けませんが、接合のトレーリング エッジでラベルの終わりが示されます。リーディング エッジを使用して登録を制御する場合、接合の影響はないと想定します。

波形のサンプル



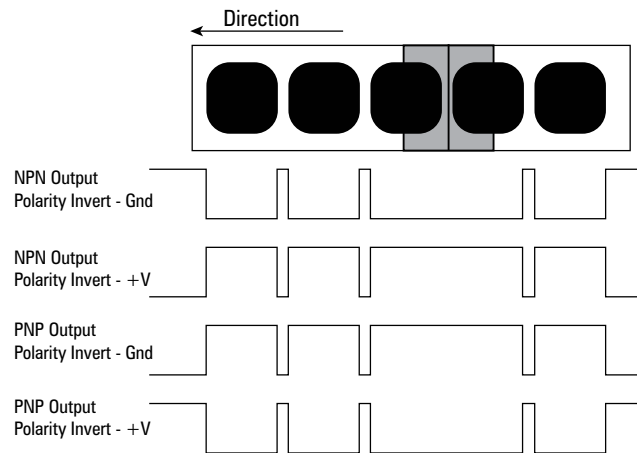
LRD8200、LRD6110、ItraLRD V2

LRD8200、LRD6110 および UltraLRD V2 は、センサ フォークで材料の厚さ合計を測定します。厚さがトリガ ポイントを超えると、センサはラベルを示します。一度トリガ ポイントを超えると、さらに厚さが増加しても出力には影響しません。

接合の材料は通常はこのトリガ ポイントを超えるため、仮にラベル間にギャップがあっても、接合が存在する限り、センサはラベルの存在を示します。

接合の上にリーディング エッジがあるラベルは、検知されません。

波形のサンプル:



接合が 1 つだけのラベルの下にある場合、接合は検知されません。